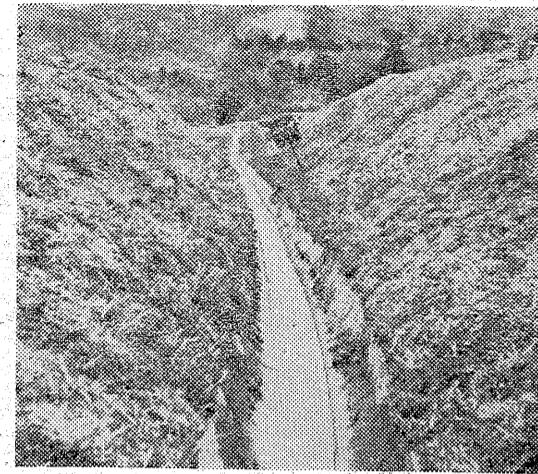


地滑り防止に新機軸

平土木事務所 好間の大利地内に



栄養と身体の調査

赤井村 49世帯二三六名の



た醤の中に多くのグリ石を入れたもの)を運ねて二列へ入れその上をウダで撒き込み、そのグリ石を五五分の厚さに重ねて埋め、直径六十センチの半円のヒューム管を敷いて、また溝の両側には芝を張つて土砂の流れを防ぐようにしてあるが、豪雨の際は表面を流れる雨水はヒューム管に流れ込み、地下は下部を流れる仕組みになつているのがミソ。この工事は試験的なもので、地滑り防止にはかな

平土木事務所では地滑りを起して策地区に指定していた。

危険にさらされている好間村大利地内の地滑り防止対策砂防工事をタール、林地五十二ヘクタールに昨年度から実施の大半が完成したが、今年度は残された水路や下部工事を行う予定である。この地内は大正九年の豪雨の際に大きな地滑りを起こし、人蒙りを三戸が危険にさらされ、地滑り対策を行つて蛇籠八番線の張金を作った。これは栄養改善法もさしきれぬためにしたことがあり、昨年は七月十七日から三十日までの五日間の豪雨で地滑れを生じ、人蒙りを一・五戸、深さ二・四・三地点で各現地を訪ね地盤と協議した結果、五、八、十一、二月の四回にわたり栄養と身体の状況調査を行つてきめた。なる程五月十日から十二日までの三日間で、そのデータが注目される。

平保健康所では厚生省の国民栄養調査所とよなつた平市赤井村団子田地内の四十九世帯、一百三十六戸で地滑りが生じたため、平土木事務所ではその防止対策として約四百万円を投じて地滑り個所の整備延長四百五十㍍にわたって砂防工事を施した。工事は篠の平担部を巾一・五㍍、深さ二・四・三地点で各現地を訪ね地盤と協議した結果、五、八、十一、二月の四回にわたり栄養と身体の状況調査を行つてきめた。なる程五月十日から十二日までの三日間で、そのデータが注目される。

修学旅行打合せ会

平市内の11小学校で

渡米労務者中野さん出発

宇摩子

大島四中野嶋勇さんは渡米労務者

発電所(勿来市)常磐市役所を

察する。

改裝で臨休

大森が店内改

城市の全市議員は二十八日前八

時、市役所前をバスで出発、高架

九日(第参議院)八日(御歳出祭)

浜松住友銀行へ入る。五月四

日午前十時羽田空港からパン・メ

リカーチャータ機で出発し、ガ

ルフオルニヤードで一年間農業技術

の獲得に当る。

時までに横浜市中区本町外務省横

浜松住友銀行へ入る。五月四

日午前十時羽田空港からパン・メ

リカーチャータ機で出発し、ガ

ルフオルニヤードで一年間農業技術

花火で一週間の火傷

少年がポケットに投げ込み

花火シールズを前に、中学生がいたずらで花火に火をつけ友達のポケットに入れ、二人に一週間のヤケドを負わせた事件があり平野では花火遊びに十分注意するよう学校とPTAに警告を発した。二十六日㈯は市錦田町小学校四年生の二人が錦田山で遊んでいた時、近くの中学生の四人が遊びにきて、「うすき花火」に火をつけ少女の上衣ポケットと少年のズボンポケットに投げ込んだため一人は胸や尻にそれぞれ一週間のヤケドを負った。



業者も協力を

平野防犯係長

渡辺政吉氏

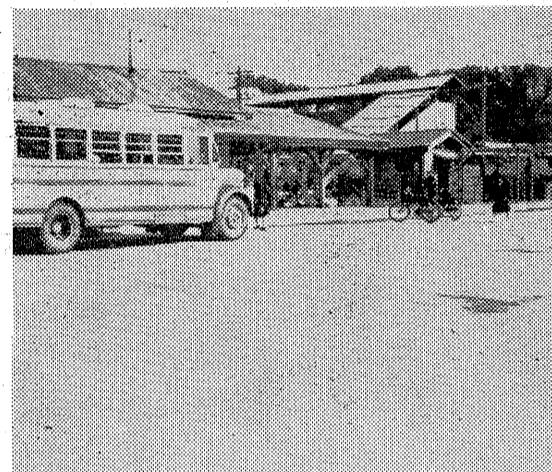
業者も協力を

いたずらな行為、おもしろい行為のいたずらといつてしまいましたが、大人の手中にもかかわらず、一週間に笑っているようなことが少くない。たんに誤るところから不思ひになつたり、花火シールズを前に関係する危険性が多くあるだけに、花火シールズを前に関係者がなかなかこの花火遊びについて意見を述べてもらつた。

二少年を表彰

平二小 平塙の山火事消す

平二小で筆頭訪神社所有の石森山麓の雑木林から出火、出遊びに行っていた日朝、同校四年二組星雲天君、同三組通口芳明の二人を「山火事の消火作業に當り、署から連絡してこのほど画君の善行が明るく表彰した」と功績で金額の横幅をして表彰した。
去る十九日午後一時ごろ平市下平



【写真は星雲天君】

